

平成24年度

事業報告書

自 平成24年4月1日
至 平成25年3月31日

愛知公立大学法人

I 大学の概要

(1) 現況

①法人名

愛知県公立大学法人

②所在地

長久手市茨ヶ廻間 1 5 2 2 番 3

③ 役員の状況

理事長 笹津恭士

副理事長 2名

理事 3名

監事 2名

④ 大学の概要

○学部等の構成

・愛知県立大学

(学部)

外国語学部、日本文化学部、教育福祉学部、看護学部、情報科学部

(研究科)

国際文化研究科、人間発達学研究科、看護学研究科、情報科学研究科

(全学教育研究組織)

教育研究センター、学生支援センター、地域連携センター、学術情報センター

・愛知県立芸術大学

(学部)

美術学部、音楽学部

(研究科)

美術研究科、音楽研究科

(全学教育研究組織)

芸術教育・学生支援センター、芸術創造センター、芸術情報センター、芸術資料館

○学生数及び教職員数（平成24年5月1日現在）

・愛知県立大学（新・旧）

学部学生 3,333名

大学院学生 212名

教員 218名

・愛知県立芸術大学

学部学生 809名

大学院学生 194名

教員 88名

・法人事務局

職員 177名

(2) 大学の基本的な目標等

①新しい愛知県立大学（愛知県立大学・愛知県立看護大学）

愛知県立大学と愛知県立看護大学は、これまで時代や社会のニーズに応えながら、その役割を果たし、実績を積み重ねてきたが、今日の競争的環境の中で、大学の使命や機能をより一層果たしていくために、平成21年度に統合再編し、教育研究基盤を強化した新しい中規模複合大学として、知の拠点を形成し、地域社会及び国際社会に貢献する人材の育成を目指して、教育・研究・地域連携を推進することとし、新しい愛知県立大学の理念を次のとおりとする。

○新しい愛知県立大学の理念

- 1 「知識基盤社会」といわれる21世紀において、知の探求に果敢に挑戦する研究者と知の獲得に情熱を燃やす学生が、相互に啓発し学びあう「知の拠点」を目指す。
- 2 「地方分権の時代」において、高まる高等教育の需要に応える公立の大学として、良質の研究とこれに裏付けられた良質の教育を進めるとともに、その成果をもって地域社会・国際社会に貢献する。
- 3 自然と人間の共生、科学技術と人間の共生、人間社会における多様な人々や文化の共生を含む「成熟した共生社会」の実現を見据え、これに資する研究と教育、地域連携を進める。

○学部・学科再編のコンセプト

- 1 グローバルな多文化共生を目指す
 - ・グローバルな「多文化共生」の実現に資する人文社会科学
 - ・言語、文化、社会に関わる教育・研究と、異文化理解、自文化理解、地域文化理解能力の涵養
 - ・高度な外国語能力あるいは優れた日本語能力と、異文化・自文化理解能力を備え、国際社会に羽ばたき、地域の国際化を担う人材の養成
 - ・地域の国際化・多文化共生を進める政策提言
- 2 社会における人間の共生を支える
 - ・人間の尊厳と発達を支えるヒューマン・サイエンス
 - ・社会における人間の共同性の回復、多世代間の共生、性差を越えた共生、健常者と障害者の共生、子育て支援・次世代育成、高齢者福祉、医療のための協働の実現を進める教育・研究
 - ・社会における「人間の共生」を支える公共的人材の養成
 - ・人間の発達、教育、福祉、医療に関する政策提言
- 3 科学技術と人間の共生を図る
 - ・情報科学・技術及び健康科学の高度化に対応する教育・研究の推進と、「科学技術と人間の共生」に関する課題の探求
 - ・「ものづくり技術の知的拠点」を支える情報技術開発と人材養成
 - ・「地域における人間の共生」、「グローバルな多文化共生」の課題を解決する技術の開発と人材養成
 - ・人間の健康を支える技術開発と人材養成
 - ・産学行政連携による地域経済振興

②愛知県立芸術大学

芸術は、太古から人間の暮らしに潤いを与え続け、常に人間の歴史とともにあった。人間は、芸術によって、自己を革新し、硬直する人間の思考を柔軟なものにしてきた。そして、優れた芸術は人間に知的な飛躍をもたらすものである。

愛知県立芸術大学は、独自の豊かな文化・芸術の伝統が育まれてきた愛知県に創設された「芸術の場」であり、当地域の芸術文化を育み、県内外に発信していくことが求められている。そのために本学は、開学以来培ってきた歴史を継承し、さらに発展させていく必要がある。

愛知県立芸術大学は、個性的で魅力ある大学として、また、愛知が生んだ芸術文化の拠点として、地元愛知はもとより国際的にも開かれた芸術文化の発信地となることを目指し、大学の理念を次のとおりとする。

○ 愛知県立芸術大学の理念

- 1 学部から大学院までを視野に入れた一貫した教育研究体制の充実を図り、芸術家、研究者、教育者など芸術文化にたずさわる優れた人材の育成を目指す。
- 2 国際的な視野を持った高度な芸術教育を実践することにより世界に通用する優れた人材を育成し、国際的な芸術文化の創造・発信拠点となることを目指す。
- 3 教育・産業・生活文化など様々な分野で本学の持つ芸術資源を有効に活用し、地域社会と連携して、愛知県の芸術文化の発展に貢献することを目指す。

II 平成24年度事業実績

第一期中期計画期間の最終年度となる平成24年度においては、同計画の完遂に向け、次のような事項に重点的に取り組んだ。

1 大学の教育研究等の質の向上

1-1 教育

(1) 実施体制、教育の内容等

○入学者選抜

- ・外国語学部において26年度入試から「センター利用型推薦入試（グローバル人材）」を全国枠で実施することを決定（県立大学）

○大学院教育

- ・認定看護管理者、専門看護師及び助産師の育成（県立大学）

○教育内容・方法の充実・改善

- ・各学部において学外委員による外部評価の実施（2大学）
- ・グローバル人材育成推進事業の推進（県立大学）
- ・京都市立芸術大学とのFD意見交換会の開催（芸術大学）

○卒業生に対する継続教育

- ・名誉教授による講座「県大アゲイン」の実施（県立大学）

○図書館の機能充実

- ・開館日数の増加、書架・パソコンの増設（県立大学）

(2) 学生への支援

○留学生支援

- ・チューター制度による支援実施（2大学）

○就職支援

- ・キャリア支援室による各種就職ガイダンスやサテライトキャンパスでの就職支援（県立大学）
- ・インターンシップ受入先の拡大（県立大学）
- ・ジョブサポーターによる就職相談の実施（芸術大学）

1-2 研究

○研究体制の整備

- ・県立2大学における研究プロジェクト採択（2大学）
- ・科学研究費補助金申請に向けての支援（2大学）
- ・知的財産出願等取扱要領の作成

1-3 地域貢献

(1) 各種機関との連携

○行政等との連携

- ・愛知県「知の拠点」における「超早期診断技術開発プログラム」へ参画（県立大学）
- ・愛知県陶磁資料館と包括連携協定を締結、共同企画展を開催（県立大学）
- ・長久手市文化の家における共同事業の実施（芸術大学）

○他大学との連携

- ・東京大学との共催による I T S 研究懇談会の開催（県立大学）
- ・アートラボあいちにおいて名古屋芸術大学及び名古屋造形大学との連携による展示事業の実施（芸術大学）

○幼小中高大連携の推進

- ・スクールボランティアの派遣（瀬戸市・長久手市）（県立大学）
- ・愛知県教育委員会主催「知の探究講座」への協力（県立大学）
- ・高大連携授業の実施（愛知県立岩倉総合高校）（芸術大学）

○NPO・企業との連携

- ・受託・共同研究の推進（2大学）
- ・NPOと連携し発達障害フォーラム等を開催（県立大学）
- ・アイシン精機(株)や名古屋鉄道(株)等が開催する演奏会に協力（芸術大学）
- ・「NPO法人名倉の風」と連携した音楽教室の開催（芸術大学）

○その他

- ・「愛知県立大学地域貢献マップ」、「愛知県立芸術大学の地域連携の取り組み」作成（2大学）

(2) 国際交流の推進

○学術交流指定校の拡充・交流推進

- ・シベリア連邦大学（県立大学）、チェンマイ大学（芸術大学）との協定締結
- ・ガジャマダ大学にて国際交流プログラムの実施（県立大学）
- ・留学に関する規程を整備し、交換留学生制度を創設（芸術大学）
- ・エジンバラ芸術大学との共同によりシンポジウム・レクチャー等を実施（芸術大学）

2 業務運営の改善及び効率化

- ・年度方針に基づく各部門重点施策の策定と運営
- ・実務経験を有する者の固有職員としての登用促進
- ・教員評価制度の本格実施（2大学）

3 財務内容の改善

- ・受託研究費や科学研究費補助金等を含めた外部資金の獲得

[単位：件／千円]

区分	年度	県立大学		芸術大学	
		件数	金額	件数	金額
奨学寄附金	23	4	1,900	7	54,831
	24	9	5,550	9	6,700
受託研究費	23	4	3,830	7	11,341
	24	2	1,747	3	7,670
共同研究費	23	7	6,347	0	0
	24	8	7,256	0	0
科学研究費 補助金等	23	85	135,990	6	9,360
	24	91	105,760	8	8,840
受託事業費等	23	1	2,500	7	3,988
	24	1	500	8	3,682
その他補助金	23	3	21,628	0	0
	24	4	114,624	0	0
計	23	104	172,195	27	79,520
	24	115	235,437	28	26,892

注1) 金額については、当該年度の実受入金額を記載。

注2) 科学研究費補助金等については、研究分担者分を除く。

- ・授業料免除制度の抜本的な制度改定
- ・学生納付金について高水準の納付率を維持 24年度：99.89% 23年度：99.84%

4 自己点検・評価及び情報の提供

- ・各学部において学外委員による外部評価の実施〔再掲〕（2大学）

5 その他業務運営

- ・新音楽学部棟建設にあたり環境調査や環境対策等を県と協力して実施

Ⅲ 予算、収支計画及び資金計画

1 予算

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	5,363	5,239	△124	
自己収入	2,901	2,853	△48	
授業料及び入学検定料収入	2,773	2,712	△61	
雑収入	128	141	13	
受託研究等収入及び寄付金収入	160	185	25	
教育研究環境整備等積立金取崩	284	14	△270	
計	8,708	8,291	△417	
支出				
業務費	8,042	7,493	△549	
教育研究経費	1,344	1,199	△145	
一般管理費	932	868	△64	
人件費	5,766	5,427	△339	
施設整備費	506	236	△270	
受託研究等経費及び寄付金事業費等	160	184	24	
計	8,708	7,914	△794	

(注) 金額は、百万円未満を四捨五入しておりますので、合計金額と一致しないことがあります。

2 収支計画

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備 考
費用の部	8,261	7,822	△439	
経常費用	8,261	7,822	△439	
業務費	6,573	6,639	66	
教育研究経費	681	1,148	467	
受託研究費等	126	21	△105	
人件費	5,766	5,470	△296	
一般管理費	805	476	△329	
財務費用	49	45	△4	
減価償却費	834	662	△172	
臨時損失	0	0	0	
固定資産除却損	0	0	0	
収入の部	8,261	8,183	△78	
経常収益	8,261	8,183	△78	
運営費交付金収益	5,363	5,239	△124	
授業料等収益	2,450	2,436	△14	
受託研究収益等	126	143	17	
財務収益	2	1	△1	
雑益	160	171	11	
資産見返運営費交付金等戻入	121	150	29	
資産見返物品受贈額戻入	38	43	5	
臨時利益	0	0	0	
資産見返物品受贈額戻入	0	0	0	
純利益	0	361	361	
目的積立金取崩	—	5	5	
総利益	0	366	366	

(注) 金額は、百万円未満を四捨五入しておりますので、合計金額と一致しないことがあります。

3 資金計画

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備 考
資金支出	19,989	19,968	△21	
業務活動による支出	7,765	6,824	△941	
投資活動による支出	11,434	9,857	△1,577	
財務活動による支出	559	520	△39	
次期への繰越金	231	2,767	2,536	
資金収入	19,989	19,968	△21	
業務活動による収入	8,424	8,137	△287	
運営費交付金による収入	5,363	5,239	△124	
授業料及び入学検定料による収入	2,773	2,575	△198	
受託研究等収入	90	21	△69	
寄附金収入	36	13	△23	
補助金収入	—	114	114	
預り金収入	—	4	4	
その他収入	162	171	9	
投資活動による収入	11,050	11,175	125	
前期よりの繰越金	515	656	141	

(注) 金額は、百万円未満を四捨五入しておりますので、合計金額と一致しないことがあります。

IV 短期借入金の限度額

該当ありません。

V 重要な財産の譲渡、又は担保に供する計画

該当ありません。

VI 剰余金の使途

該当ありません。